

PHJ メールニュース 2010年4月号
送信日時： 2010年4月20日



PHJ メールニュース読者の皆様

桜からつつじ、はなみずき、新緑へと周りの景色がかわってきています。皆様お元気ですか？ピープルズ・ホープ・ジャパン (PHJ) メールニュース 2010年4月号を配信いたします。

PHJ メールニュースはPHJの活動を支援してくださっている皆様に本部、タイ、インドネシア、カンボジアでの活動をより広く深く知っていただくために毎月メールでご報告するものです。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ運営委員（オブザーバーとして出席されている方を含む）の方々、およびPHJを支援してくださっている方々にお送りしています。

PHJ メールニュース4月号目次

1. PHJ 本部のニュース

- 1-1. 季刊誌 ホープニュース 52号、PHJ News 52の発行
- 1-2. 鳩山総理宛 G8における日本政府のコミットメントに対する要望書提出
- 1-3. スタディツアーが埼玉大学のカリキュラムの一環に
- 1-4. PHJ ホームページ企業による支援事例に2社の事例を追加しました
- 1-5. イーココロ！クリック募金に参加しました

2. PHJ タイ事務所のニュース

- 2-1. 子宮頸がん予防教育
- 2-2. 小児心臓病手術

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

- 3-1. 月例星健康教育
- 3-2. 母子保健センター、保健・保育センター建設
- 3-3. 地域医療強化

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

- 4-1. 「安全なお産」支援募金

4-2. バライサントク母子保健改善事業

1. PHJ 本部のニュース

1-1. 季刊誌 ホープニュース 52 号、PHJ News52 の発行

巻頭言：慶応義塾 清家塾長の「持続性への挑戦」

会員のひろば：個人会員 渡邊さんの「何故社会貢献が必要な？何故寄付なの？」

活動報告：タイ、インドネシア、カンボジア

ホープニュース 52 号を 4 月 1 日に発行し、会員に配布しました。PHJ News 52 はホームページで公開しました。

1-2. 鳩山総理宛 G8 における日本政府のコミットメントに対する要望書提出

国際開発目標(ミレニアム目標)の乳幼児死亡率の削減、妊産婦の健康改善などに世界の目が向けられています。妊産婦および乳幼児死亡率の削減は 2010 年 G8 ムスコカサミットのテーマに掲げられていることを踏まえ PHJ を含む NG015 団体は日本政府に対し 3 つの要望：

1. 妊産婦・乳幼児死亡率の削減のためのビジョンを示し、強いメッセージを発信する。
2. そのための対策として日本の経験を踏まえ包括的なリプロダクティブ・ヘルスサービス普及の重要性を強調する。
3. リプロダクティブ・ヘルスサービスについて十全な資金的コミットメントを国際機関や NGO などの民間団体への拠出：を作成し、4 月 6 日鳩山総理にお渡ししました。

鳩山総理からは提言 1, 2 は問題ないが 3 の資金的コミットメントは真剣に検討する。NPO との協力は今後も深めてゆきたいとのコメントをいただきました。

1-3. スタディーツアーが埼玉大学のカリキュラムの一環に

2009年にPHJが開催したスタディーツアーに参加した埼玉大学の学生より大きな反響を呼び、本年よりスタディーツアーが埼玉大学のカリキュラムのひとつになりました。このカリキュラムは「異なる文化と出会う集中講義」と題し、カリキュラム作成段階においてもプログラム担当のPHJ石関が協力しています。本カリキュラムはスタディーツアーに行く前に書物やビデオを通して集中講義を行い、その後カンボジアに行き農村の人々ととも共同作業を体験することで、日本以外の国に対する理解をより深めることを目的とします。

1-4. PHJ ホームページの企業による支援事例に 2 社の事例を追加しました

企業による支援事例は 2 社の事例を追加し、10 例を紹介しております。

http://www.ph-japan.org/supportPHJ/corporate/titile_sponsor.html

1-5. イーココロ！クリック募金に参加しました

4月から「クリックから世界が変わる、毎日無料でできるいいこと」に参加しています。

<http://www.ph-japan.org/news/detail.php?q=news4bc66e1144836>

1-6. PHJ スタッフのブログデザインが変わりました

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/

1-7. 新しいスタッフがプログラム・サポート Gr に加わりました

ICUを卒業した武長純子が4月1日にPHJプログラム・サポート Gr に加わりました。2008年にタイに留学中、PHJタイ事務所でインターンをした経験を活かして各国のプログラムのサポートにアイデアと力を発揮してくれることを期待しています。

2. PHJ タイ事務所のニュース

2-1. 子宮頸がん予防教育

3月には活動地域チェンマイ県メリン地区18村二つのヘルスセンターでヘルスボランティア136名への教育を実施しました。またメタン、メリン地区44村でパップテスト・キャンペーンを行い945名(対象者の67%)が受診。3月20日はヘルスボランティアの日、メタン地区で3月23日メリン地区で健康促進と子宮頸がん予防教育を4000人に実施。3月25,26日は健康促進と疾病予防に関するセミナーに参加し、子宮頸がんに関する展示と教材を配布。チェンマイ県保健局から感謝状をいただきました。

2-2. 小児心臓病手術

3月に2名の患者の手術を実施しました。今期(2009年7月から2010年6月)10名の目標中7名の手術がおわりました。

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

3-1. 月例母子健康教育

3月は「妊娠期と搬送」についての教育をテイルタヤサ地区の14村で行ないました。参加者数610人、そのうち男性57人とこれまでで最大の参加者でした。この活動では「無料妊産婦検診」を実施し、助産師による出産解除・医療施設での出産をよびかけています。

3-2. 母子保健センター、保健・保育センター建設

3月号のメールニュースでお知らせしたポンタンレゴン村での母子保健センター

(Poskesdes) 寄贈は3月21日発行のインドネシア全国紙 Kompas に掲載されました。続いてスカン村 Poskesdes の寄贈も具体的になりました。提供される土地が狭いため既存の建物の取り壊し後2階建てのセンターを建設します。

支援要請がでているトウンダ島での「分娩室建設」「保健・保育センター (Taman Posyandu) 建設」のため島を訪問しました。天候と海上の事情からやっと実現しました。診療所関係者、施工業者、現場監督と村長、海上警察、現地関係者との調整を行いました。本土での準備が終わったので4月から現地で工事着工となります。海の天候などに細心の注意を払い、安全な工事を行ないます。

3-3. 地域医療強化

「助産師による出産数増加」や「自宅出産減少」など地域保健強化活動(助産師、伝統的産婆とのパートナーシップ強化)は3月には7村で実施し、235名が参加しました。内83名(35%)が男性でした。「出産費用積み立て」「緊急医療貯蓄」なども少しずつ定着し始めています。

4. PHJ カンボジア事務所ニュース

4-1. 「安全なお産」支援募金

2月にホームページで開始した支援募金について季刊誌配布と同時にちらしを配布して紹介しました。ヘルスセンターでの妊婦検診と分娩の奨励セットの配布について村人へ知らせるポスターの作成など準備が整ってきました。

4-2. バライサントク母子保健改善事業

保健センター4箇所での運営委員・保健ボランティアの月例会議を開催しています。タノートチュム保健センターはヘルスセンターと村が連携して妊産婦の命を救ったことで UNICEF のベストプラクティスの例として取り上げられビデオ作成に参加しました。

■ クリック募金にご協力ください！

イーココロ！クリック募金

ピース・ホープ・ジャパンは募金サイト イーココロ！「クリックから世界が変わる、毎日無料でできるいいこと」に参加しています。

<http://www.ekokoro.jp/ngo/195/>

PHJ メールニュース 2010年4月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。
このメールニュースへのご意見、ご要望は info@ph-japan.org までお送りください。
次号の参考にさせていただきます。
またこのメールニュースの配信を希望されない方は info@ph-japan.org までメール
ニュース配信不要とご連絡ください。

発行者：

認定NPO法人

ピープルズ・ホープ・ジャパン

広報 矢崎 祐子

〒180-8750

東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail: info@ph-japan.org

URL: <http://www.ph-japan.org>

Copyright: 2010 ピープルズ・ホープ・ジャパン
